

A black and white photograph of a steep, rocky hillside. In the foreground, a stone path made of large, flat stones leads up towards a stone wall. The hillside is covered in dense, horizontal layers of rock or soil, suggesting a terraced or eroded surface. The overall scene is rugged and historical.

Ⅲ 平城宮跡等の調査概要

表24 2014・2015年度 都城発掘調査部（平城地区）発掘調査一覧

調査回数	調査地区	遺 跡	調査期間	面 積	調査地	担当者	調査要因	掲載頁
(2014年度)								
530次	6AGC-I 6AGA-J	右京一条二坊四坪・ 二条二坊一坪・一条南大路	2014.4.14～2015.2.18	3,591㎡	奈良市二条町	小田裕樹、鈴木智大、 神野 恵	学術調査	124
536次	6BYS	薬師寺東塔	2014.7.8～2015.3.31	314.6㎡	奈良市西ノ京町	青木 敬	学術調査	154
544次	6AFO-D	法華寺旧境内	2015.1.13～2015.2.6	126㎡	奈良市法華寺町	渡辺晃宏	住宅建設	172
(2015年度)								
546次	6AGA-A	西一坊大路	2015.4.6～2015.6.17	1,008㎡	奈良市二条町	小田裕樹	学術調査	124
547次	6BPK-I	法華寺旧境内	2015.4.2～2015.4.28	292㎡	奈良市法華寺町	石田由紀子	住宅建設	172
548次	6ASB-J	平城宮北方遺跡	2015.4.15～2015.4.22	98㎡	奈良市佐紀町	海野 聡	住宅建設	180
549次	6ASB-J	平城宮北方遺跡	2015.5.7～2015.5.11	30㎡	奈良市佐紀町	石田由紀子	住宅建設	116
550次	6BTG-J・K	東大寺東塔院跡	2015.7.21～2015.12.15	720㎡	奈良市雑司町	山本祥隆	学術調査	182
551次	6ABQ-H	平城宮第一次大極殿院広場	2015.7.2～2015.10.2	328㎡	奈良市佐紀町	芝康次郎	学術調査	118
552次	6AGF-G・H	右京三条一坊一坪・二坪	2015.12.16～2016.3.30	796㎡	奈良市二条大路南	丹羽崇史	史跡整備	186
553次	6BKF-K・L	興福寺境内	2015.7.21～2015.12.4	154㎡	奈良市登大路町	林 正憲	防災工事	188
554次	6BYS-J・K	薬師寺東塔	2015.7.7～2015.9.24	23.2㎡	奈良市西ノ京町	青木 敬	学術調査	154
555次	6AFJ-P・Q・R	左京三条一坊一坪・二坪	2015.7.8～2015.7.31	650㎡	奈良市二条大路南3丁目	山本祥隆	建物建設	116
556次	6AQF-Q	右京三条一坊九坪	2015.7.24～2015.7.25	4㎡	奈良市二条大路南4丁目	芝康次郎	住宅建設	116
557次	6AFJ-P・Q・R	左京三条一坊二坪・七坪・八坪	2015.7.3～2015.7.21	165㎡	奈良市二条大路南3丁目	桑田調也	照明灯移設	116
558次	6AFC-H	左京一条二坊九坪	2015.8.24～2015.9.7	25㎡	奈良市法華寺町	芝康次郎	住宅建設	200
559次	6BKF-L・M	興福寺境内	2015.10.2～2016.1.15	841.5㎡	奈良市登大路町	桑田調也	学術調査	188
560次	6AGA-A	右京一条二坊四坪	2015.10.19～2015.10.30	81㎡	奈良市二条町	林 正憲	学術調査	124
561次	6ABR-F・G	平城宮第一次大極殿院西面回廊	2015.12.14～2016.2.16	255㎡	奈良市佐紀町	林 正憲、神野 恵	史跡整備	116
562次	6ASB-M	平城宮北方遺跡	2015.12.7～2015.12.15	36㎡	奈良市佐紀町	林 正憲	住宅建設	116
563次	6AFF-D・E	左京二条二坊十一坪	2016.1.12～2016.3.31	330㎡	奈良市法華寺町	浦 蓉子	住宅建設	116
564次	6BSD-B	西大寺旧境内（重点地区）	2016.3.14～2016.3.18	20㎡	奈良市西大寺北町	芝康次郎	住宅建設	116
総括：副部長 渡辺 晃宏			写真担当：企画調整部写真室					

表25 2015年度 都城発掘調査部（平城地区）小規模調査等の概要

調査回数	遺 跡	調 査 の 概 要
549次	平城宮北方遺跡	住宅建設にともなう事前調査。現地表面下10～30cm（標高76.7～76.9m）で地山を確認した。調査区内は平坦地を確保するため後世に大規模な削平を受けているが、調査区東北隅の北壁で古代の丸瓦を転用した暗渠1基を確認したことから、周辺には古代の遺構が存在した可能性がある。
555次	左京三条一坊一坪・二坪	国土交通省による平城宮跡展示館建設にともなう発掘調査。断面観察において、奈良時代とみられる整地土層（黄褐色シルト質土などを主体とする、標高63.20m程）および奈良時代初期に属する可能性のある整地土層（灰白色砂などを主体とする、標高63.00m程）を確認した。また、下層の整地土層を掘り込む柱穴列や単独の柱穴などを検出したが、他には顕著な遺構は確認されなかった。
556次	右京三条一坊九坪	住宅建設にともなう事前調査。調査地は推定西一坊坊間路上にあたる。現地表下約70cmで地山（標高64.6m）と考えられる黄褐粘土と暗褐色砂質土を検出した。遺構や遺物は検出されなかった。
557次	左京三条一坊二坪・七坪・八坪	照明灯移設にともなう事前調査。二坪内の調査区において、現地表下約170cm（標高63.0m）で埴輪片を多く含む灰色粗砂を検出した。調査範囲が狭く断定できないが、遺構埋土の可能性はある。顕著な遺構は確認していない。
561次	平城宮第一次大極殿院西面回廊	第一次大極殿院の西面回廊の整備に関連した追加調査で、国土交通省からの受託による発掘調査。ここにはかつて大極殿に通じる園路があったため、発掘調査が及んでいなかった。調査区の北側（第436次調査）と南側（第192次調査）の発掘成果から予想される位置に、大極殿院内庭部の礎敷や一本柱塀の柱穴などを検出した。詳細は「紀要 2017」で報告予定である。
562次	平城宮北方遺跡	住宅建替にともなう事前調査。調査区は東西6m×南北6m。現地表下130cm（標高78.55m）で遺構面を確認したが、顕著な遺構は確認できなかった。なお、調査区北半では地表下180cm（標高78.0m）で奈良時代以前の堆積層と考えられる土層も確認した。
563次	左京二条二坊十一坪	共同住宅建設にともなう事前調査。調査区は東西10m×南北33m。現地表面下0.6～0.7m（標高約60.2m）の整地土上面で遺構検出をおこなった。本調査では、第279次調査で、一部を検出した奈良時代の掘立柱建物（正殿SB6950、後殿SB6990）の西の続きを確認した。詳細は「紀要 2017」で報告予定である。
564次	西大寺旧境内	共同住宅建設にともなう事前調査。調査地は金堂院の北方にあたる。現地表下約80cm（標高75.3m）で近世の整地土を検出し、その下位で中世の南北溝2条を検出した。標高75.1mで古代の整地土を数層確認したが、古代に遡る遺構は検出されなかった。

表26 2015年度 都城発掘調査部（平城地区）現場班編制 ※総担当者

春	夏	秋	冬
※小田 裕樹（考古第二）	※芝 康次郎（考古第一）	神野 恵（考古第一）	浦 蓉子（考古第一）
石田由紀子（考古第三）	青木 敬（考古第二）	林 正憲（考古第三）	※丹羽 崇史（考古第二）
馬場 基（史料）	山本 祥隆（史料）	※桑田 調也（史料）	今井 晃樹（考古第三）
海野 聡（遺構）	箱崎 和久（遺構）	大橋 正浩（遺構）	鈴木 智大（遺構）
川畑 純（考古第三：藤原）	大谷 育恵（考古第一：藤原）		
総括：副部長 渡辺 晃宏		写真担当：企画調整部写真室	